

## [C部会 発表要旨]

With コロナ、Post コロナにおける大学生・講師を対象とした研修の在り方

岐阜県総合教育センター  
課長補佐 岩田 鈴生

### I はじめに

教員の大量退職・大量採用により、若手教員の指導力向上が喫緊の課題となっている。そこで、本県では、岐阜県の公立小学校・中学校の教員を志望する大学生や常勤講師・非常勤講師を対象に、採用前から即戦力となる実践的指導力を身に付けさせるなど、より優秀な人材を育成・確保することを目的とした大学生・講師を対象とした研修「清流の国ぎふ教師養成塾」（以下、「養成塾」という。）を実施している。本発表では、With コロナ、Post コロナの視点から見直しを図り、多様な研修方法で実施した本研修の取組について報告する。

### II 取組概要

#### 1 令和2年度までの大学生・講師を対象とした「養成塾」について

平成29年度から県内の2大学、県総合教育センターを会場として実施をしている。令和2年度については、コロナ禍での対応として、動画配信による研修を行った。

#### 2 令和3年度の大学生・講師を対象とした研修について

##### (1) 令和3年度の大学生・講師を対象とした「養成塾」の全体概要

With コロナ、Post コロナの視点から見直しを図り、動画配信、WEB会議システムの利用、5大学を会場とした集合型での研修等、多様な研修方法にて実施している。

##### (2) 大学生向けの「養成塾」について

大学生を対象に、大学での教員養成のカリキュラムと連携し、集合型による研修、動画配信による研修を実施している。

##### (3) 講師向けの「養成塾」について

講師を対象に、県全体として動画配信による研修、WEB会議システムを利用した研修を実施している。また、県内の6地区の教育事務所にて、講師が勤務校にて直面している課題に応じた研修を実施している。

### III 成果・課題と今後の方向

令和2年度から With コロナ、Post コロナを見据えた「養成塾」の在り方を見直し、動画配信を取り入れたことで、県外の大学生や日常の業務を抱える講師の研修受講へとつながった。また、県内2大学から県内5大学へと集合型の研修会場を増やしたことで、教員を志望する学生にとって、より身近で受講しやすい研修となった。今後は、様々な研修方法の利点を生かし、教員を志望する者にとって、採用前の研修として、より充実した研修となるよう、実施時期や回数、内容の見直しを進めていきたい。